

H-1: 人材育成

開催日時・会場 9月4日(水曜日) 10:40-12:10 B102(1階)

URA人材育成の在り方 — 多能工型育成プログラムを通じて —

URAシステムの定着とURAによる実績創出は表裏の関係にあるが、URAとして赴任してすぐに実績を出すことは必ずしも容易なものとは言い難く、指導する上司の存在とともに、その為の育成の仕組みがあることは必要である。しかしながら、URAの育成システムを有する大学等は限定的であり、中小規模の大学では導入教育のシステム構築も困難なケースがみられる。

群馬大学は、平成26年度から文科省補助事業として宇都宮大学及び茨城大学と共同し、URA等の「研究支援人材」育成プログラムを広く他大学等を受け入れながら改良を重ねつつ実施してきた(のべ23大学・研究機関180名以上が受講済)。同プログラムは、研究プロジェクトの企画から、成果の創出まで一貫通貫で関わることのできる人材の育成を目的としており、その為の研究支援活動に必要な6つの基盤スキル(知財管理と契約、コンプライアンス、セクター間の調整能力等)を基に構成され、個々のスキル毎に受講者の能力評価をする点が特徴である。また、本事業を通じて、受講者の能力評価と大学での実務の実績の相関を継続的に観測することによって、特に産学連携プロジェクトに関する実績を出すのにURAはどのような関与が有効であるか、また、その為の能力としてどのようなものが必要なのかを、明らかにしつつあり、こうした業務を担うURAにとって、現時点で日本では唯一無二の実効性のエビデンスのある教育プログラムの体系を確立しつつある。

大学等研究機関の環境が変化し、URA等研究支援人材に対する期待が高まりつつある一方、URAシステムが大学の中で定着するには、その活動の実績が大学内で認められる必要がある。その為の人材育成の在り方はどうあるべきか、こうした人材育成プログラムのみならず、実務の現場でのOJTの在り方を含めて議論することを本セッションの目的とする。

オーガナイザー



峯岸 敬: 群馬大学 理事 (教育・企画担当)

1982年群馬大学大学院医学研究科修了(外科学系産科婦人科学)後、群馬大学医員(研修医)、プリティッシュ・コロンビア大学Post doctoral fellow、国立衛生研究所 Visiting fellow、群馬大学助手、講師を経て2000年から教授。医学部附属病院副病院長、医学部長、理事(研究担当)・副学長を歴任し、2019年から理事(教育・企画担当)・副学長。専門分野は産科婦人科学。



伊藤 正実: 群馬大学 研究・産学連携推進機構
研究支援人材育成コンソーシアム室長

東京都出身 1987年早稲田大学理工学部卒、東京工業大学大学院博士課程修了。博士(工学)。花王株式会社栃木研究所勤務を経て、日本学術振興会 博士研究員 米国ミネソタ大学 客員研究員、1995年大分大学講師、2006年教授、2009年より群馬大学教授。2009年～2015年産学連携学会会長。2015年より群馬大学研究支援人材育成コンソーシアム室長を兼務。これ以外に現在は、群馬大学 研究産学連携推進機構 産学連携的財産部門副部門長、輸出管理アドバイザー

司会者



平山 太市:茨城大学 研究・産学官連携機構 URA

茨城大学教育学部、修士課程を経て、同理工学研究科博士後期課程に進学し、脳波や視線探索からヒトの認知について研究を行ってきました。平成27年から文科省の科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業に採択された「地域特性を活用した『多能工型』研究支援人材養成拠点」にて研究支援人材としての研修を受講しつつ、茨城大学でURAとして実務にあたっています。

講演者



梶谷 誠:電気通信大学 学長顧問

1999年 電気通信大学共同研究センター長
2000年～2004年 電気通信大学長
2004年 コラボ産学官初代理事長
2004年～2008年 信州大学監事
2008年～2014年 電気通信大学長
2010年 一般社団法人スーパー連携大学院会長

馬場 忠:筑波大学 URA研究戦略室・生命環境系
室長・教授・学長特別補佐



筑波大学大学院で博士号取得。その後、日本大学松戸歯学部助手、筑波大学講師、助教授を経て1998年より教授。専門は、生殖発生生物学。途中、農林水産省食品総合研究所研究員、厚生省国立予防衛生研究所協力研究員、オクラホマ医学研究所研究員、ペンシルバニア大学医学部客員教授。趣味は、ヨット、サッカー、韓国ドラマ、芸術鑑賞、将棋、ショッピングモールめぐり。

尾崎 久記:茨城大学 理事・副学長、
研究・産学官連携機構長



東京教育大学教育学研究科博士課程中退、博士(医学)、東京教育大学で助手、茨城大学で講師・助教授・教授・教育学部長、チューリッヒ大学病院・精神科病院で客員研究員、等を歴任、2014年より茨城大学理事・副学長(学術統括)、2018年に発足した研究・産学官連携機構長を兼務し、多能工型人材育成コンソーシアム運営協議会委員
専門分野は、脳科学、認知神経科学